



# 安全大会

# フクタニュース

発行



(株)フクタ

砕石部

## 風吹けば・・・

ゴールデンウィークの真ん中、5月2日はたいそう風の強い日でした。事務所の社旗やプラントのブルーシートが飛ばされたのはまだしも、産廃プラントの塀や火工所も倒される被害となりました。天皇陛下の来県も風の影響で延期となったほどの大風でした。連休明けの仕事が片づけと塀の修理、復旧となりました。



風でおしたおされている！



5月21日、フクタグループ安全大会を開催しました。毎年4月に開催していましたが、今年は震災の影響もあり、一ヶ月遅れの開催となりました。

午前中の全体会では、宮城建設の工藤安全衛生係長から久慈港における津波被害とその教訓を多くの実例を混じえて講話していただきました。

午後からは、フクタと福田運送に分かれ研修会を開催し安全週間に向けて安全作業、安全運行の再確認をしました。

我々 フクタ 福田運送の社員は、人命尊重という基本理念に基づき、安全専一100年の思想を肝に銘じ、一顧となって「労働災害」「交通災害」ゼロをめざし、安全で快適な職場づくりに努力することを誓います。



各部所の長が前に出て皆で安全の誓いを讀上げ誓いました。

## 現場拜見

一戸町内の住宅建築現場でハイスピード工法という地盤改良が行われるということで興味深々見学に行った。

オーガドリルで直径30cm位の孔を掘り、その中に40～20mmの単粒度砕石を流し込みながら転圧する。なんとシンプル。

1孔掘って埋めるのに10分位だろうか。それでも所定の強度や耐震性は確保されるのだそうだ。砕石にもこんな用途があることを体感させていただいた。



## 人知れず

原石山を歩いていると去年はなかった所に新しい植物が芽生えていたりする。そんな場面に出くわすと、たいしたものだと思う。

何もないところに自分の住処を決め、そこに根を張る先駆的魁精神に力強さを感じてしまう。

ふと津波の被災地の光景が目につく。被災地にも小さくても力強い芽が吹く時が必ず来るであろう。



かれんな紫花



上を向く一本松



## ～道を拓く～

『砕石屋って山掘ってりゃいいんだから、さぞ儲かるでしょう』と言われることがある。

そんな時ちょっと大人げなく『いやいやあれもかかるし、これもかかる。決して儲かるもんじゃありません。』と、つい真剣に反論してしまう。原石を採取するには十分な下ごしらえが必要なのだ。という訳でサツパ沢工区頂部までの作業道を開設した。さしあたりの下ごしらえの完了である。何ごとも兵站の確保が勝敗を決するのだと思う次第。



## IP電話

先月、フクタグループはIP電話に変えました。当社はもちろんのこと、かけて頂くお客様にも下記の電話番号にかけて頂くと電話代が安くなります。ご利用いただけますように宜しくお願い致します。

フクタ 本社	050-3533-2783
フクタ 砕石場	050-3533-6810
福田運送	050-3391-3625

## 編集後記

先日あるお客様の安全協議会にお邪魔しました！そこでお客様より『当社の警備についてどうですか？』と問われました。何かあればすぐに伝えてほしい変えていきますからと言われ・・・(お客様にクレームを言うのは出来ない！)と思っていた私は、これはお客様の安全につながるものなのだ改めて感じました。これからは運転手にこういうことも確認していこうかと思います。